

科 目 名		学年	
日本語表現 : Communication in Japanese		1PDK	
教 員 名 : 畑村 学 : HATAMURA Manabu			
単 位	授 業 時 間	科 目 区 分	授 業 形 態
2	100分	必修	講義・前期
授 業 概 要	講義を踏まえた演習形式の授業を行う。 論理的で明確な話し方や態度、声の出し方を習得させる。 人の話を聴く態度や、本質的で具体的な質問ができるようにさせる。 内容やポイントを構造的にまとめる図解方法を習得させる。		
到 達 目 標		評 価 方 法	配 分
的確な表現や資料を用いた口頭発表ができる。		課題、プレゼンによる。	70%
人の話を聴き、本質的な質問ができる。		課題、プレゼンによる。	
ポイントを抑えた構造的な図解表現ができる。		定期試験による。	30%
学習・教育目標			
G①		JABEE基準1(2)	(f)
授 業 計 画	回	項 目	内 容
	第1	ガイダンス	シラバスをもとに半年間の授業内容を確認し、修得すべき日本語の表現力及び到達目標を確認する。
	第2	プレゼンテーション概論・演習①	プレゼンテーションに必要な話し方(声、リズム・間、体の使い方)を学習し、「おすすめの本」「自己紹介」などの課題で実際に短いプレゼンテーションを行う。 聴き手は、積極的に聴く態度(見る、うなずく、質問やコメントをする)を学習する。
	第3	プレゼンテーション概論・演習②	
	第4	プレゼンテーション概論・演習③	
	第5	図解と説明文①	プレゼンテーション資料に不可欠な図の書き方(図解)について学習する。新聞や雑誌、ネット上に掲載される図を利用して、優れた図の書き方を理解する。
	第6	図解と説明文②	基本的な図の書き方に基づいて、図を作成する。
	第7	図解と説明文③	プレゼンの原稿にあたる図の説明文の書き方を学習する。
	第8	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。
	第9	ショートプレゼンテーション①	オリジナルの図を作成し、図を使って効果的なプレゼンテーションを行う。 授業で学習した話し方や図の説明の仕方(説明文の書き方)を踏まえてプレゼンテーションを行う。
	第10	ショートプレゼンテーション②	
	第11	ショートプレゼンテーション③	
	第12	企画書の作成とプレゼンテーション①	企画書の書き方を理解する。 図解を取り入れた企画書を作成し、それを基にプレゼンテーションを行う。 企画内容をわかりやすい図にまとめる。
	第13	企画書の作成とプレゼンテーション②	
	第14	企画書の作成とプレゼンテーション③	
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。授業評価アンケートを行う。	
自学自習の内容		レポートを課す。	
関連科目		国語IV	
教科書			
参考書			
授業評価・理解度		最終回到授業アンケートを行う。	
副担当教員			
備考			